

寺だより

ごらく通信

令和3年8月1日
第20号

発行所
千葉県安房郡鋸南町
竜島7番地
極楽寺
0470-55-0733
<http://gokurakuji.online>

自らの意を浄くす

——七仏通誠偈——

東京オリンピックが開幕し、選手たちの活躍が毎日ニュースで放送されています。開催に至るまでは様々な問題が取りざたされていますが、そのような中でもオリンピックの開催を信じて日々トレーニングを続けてきた選手たちの勇姿には敬服せずにはいられません。

オリンピックの直前まで日本中に鬱屈した雰囲気がありました。選手たちの輝かしい姿が私たちを勇気づけ励まし、世の中に垂れ込めていた暗雲を払ってくれたように思います。

インターネットの普及で情報の伝達が早くなり、世界中の人々の意見や考え方についても即時に反映される。昨今、大多数の人々が他人の意見に同調する傾向が顕著で

あるように感じます。それが他者への賞賛や、何か素晴らしい出来事から生まれるものであれば良いのですが、反対に他者への批判などに向けられる場合に、そうした状況を目にするたびに私たちも心が疲れ、世の中も暗くなってしまうような気がします。

正義を主張し、悪を断絶することは間違いではありませんが、ただ同調して批判をするだけでなく、悪を断絶した先の結果として、建設的な未来をしっかりと創造していくことを考えることが必要です。正義とは多くの人が幸せになるように行動すること。そうした行動の積み重ねが結果的に自らの心を豊かに、浄らかにしてくれるはずですよ。

七佛通誠偈とよばれるお経には、仏教の基本的な理念が示されています。

諸悪莫作 — もろもろの悪を作すこと莫(な)く
衆善奉行 — もろもろの善を行い
自浄其意 — 自らの意(こころ)を浄くす
是諸仏教 — 是がもろもろの仏の教えなり

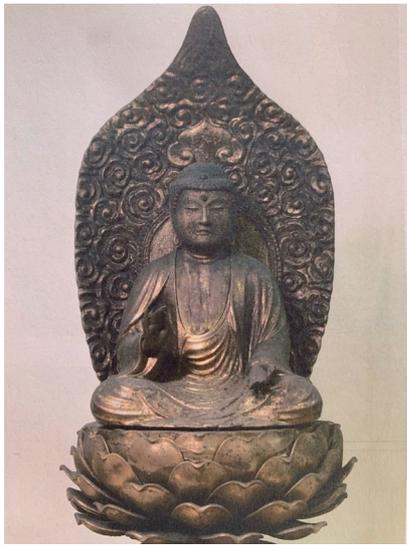
真言宗では、今生きているこのままに仏になることができる(即身成仏)の教を説きます。それは「自らの意を浄らかにする」ことで完成されます。

仏教は自分の心を見つめる宗教です。自分の心を見つめ、他者の心を押し量り、日々気づき得ることで未来の行動が変わり、私たちの社会も良い方に変わっていくのです。

極楽寺の阿弥陀さま

かつて極楽寺の境内には阿弥陀堂がありました。今から約六十年前の昭和三十年代に火事で焼けてしまいました。が、ご本尊さまは厨子とともに残り、本堂でお祀りしておりました。

厨子は当時の火事によって焼け焦げた跡や、溶けた漆などがありました。



火事にあった阿弥陀さま
修復前の写真

このほどの奉修事業にあわせて、阿弥陀さまも修復しようと発願し、先日修復を終えて極楽寺に帰ってきました。

これまで極楽寺の阿弥陀さまはいつごろ作られたのか不明でした。

今回の修復で台座の裏側に墨書が見つかり、「馬喰町三丁目大仏師 野村源光・芳光」書かれており、作者が判明しました。



阿弥陀さまの台座の板に製作者名が記されていました

野村源光は、幕末の江戸で活躍した仏師です。上野公園の西郷隆盛像を彫刻した近代の彫刻家・高村光雲の師父である高村東雲が師事した高橋鳳雲と同時代の仏師で、幕末の四巨匠（高橋宝山（鳳雲の兄）・高橋鳳雲・松本良山・野村源光）の一人とされます。文化財指定された作品もあります。

極楽寺は江戸末期に火事で焼失した

後、天保七年（一八三六年）に再建されています。

おそらく、このときに阿弥陀堂のご本尊さまは野村源光と弟子の芳光によって修復、もしくは作られたと思われます。

もしかするとご本尊さまの不動明王も、同仏師の手になる仏さまかもしれません。極楽寺の歴史に新しい発見がありました。

阿弥陀さまは本堂右手の位牌壇のご本尊さまとしてお祀りしております。位牌壇には永代供養された方々、位牌供養をお願いされた方々の位牌を安置しご供養しております。



修復後の阿弥陀さま

境内整備事業 経過報告

令和5年に正当年を迎える弘法大師ご生誕1250年記念の奉修事業として進めてきた境内整備事業も、いよいよ大詰になってきました。

境内整備の三本柱であった無縁墓地の整備と、参道の整備も完了しました。また、今回、本堂に設置されていた古い天水桶につきましても、川孝石材さまよりご寄進をいただき、本堂の雰囲気も随分変わったように思います。



天水桶もずいぶん傷んでおりました。

今後は令和4年度中に今回の奉修事業のモニュメントともなる鐘楼堂の完成を目指します。



天水桶を新しくご寄進いただき、本堂の雰囲気も刷新されました。

この奉修事業にあたり募集しました自由寄付についてもこれまで延べ212名の方々・団体からご寄付をいただき、969万7千円となりました。心より御礼申し上げます。

自由寄付については、来年の令和4年8月31日まで受付いたします。

3万円以上のご寄付をいただいた方々には、記念のお名前を梵鐘に彫刻させていただきます。

樹木葬墓地の増設

平成29年に完成した極楽寺の樹木葬墓地のご契約がすべて埋まったため、隣地に別基を増設いたしました。

お墓を建てても将来の継承者がいない方などを対象に、広くご案内しておりますので、将来のお墓についてご心配されている方がいらっしゃいましたら、ご相談ください。



増設された樹木葬墓地。桜の木は冬に植えます。

